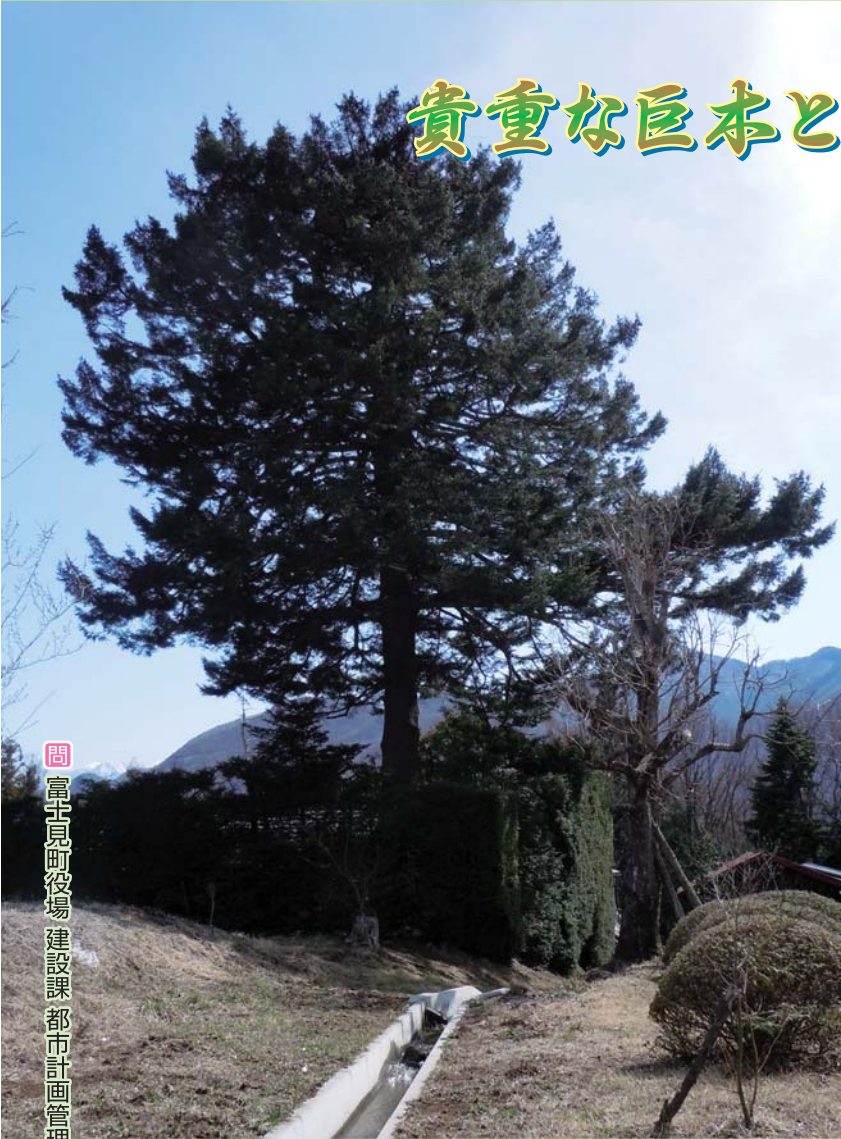


貴重な巨木と子どもの守り神

富士見の景観



問 富士見町役場 建設課 都市計画管理係
026-292-16



祠の中には二体の守り神が祭られている。

烏帽子の下、斉藤さん宅西の高いところに、ヒメバラモミの木がある。目通り169cm、高さは15mほど。逞しい根が、がっしりと地面をとらえている。下から7〜8mあたりから枝を張り、こんもりとしている。生け垣で囲われている木の根元に、小さな石の祠があつて、斉藤家の守り神になっている。言い伝えを聞くと、「その昔、斉藤家の娘が喉の重い病にかかり、医者に見はなされてしまった。しかし母親が祈り続けると、枕元に神様が現れたそう。その神様をお祭りしたところ、娘は元気になったという。」今も、モミと共に大切に守り続けている。



ヒメバラモミの
マツボクリ

針葉樹の球果(マツボクリ)は葉巻のような形をしていて、球果が熟し垂れ下がってもバラバラにならず、そのままの形で落下します。化石でもこの球果の形を保っています。

ヒメバラモミ【*Picea maximowiczii*】マツ科トウヒ属。常緑針葉樹。八ヶ岳と南アルプス北部、秩父山地の海拔1000から2000mにかけての冷帯から亜高山帯に見られる希産種です。現在はその数は1000本足らずと推定され、絶滅も心配されるほど数も分布も限られた種類のようなようです。最終氷期の地層からは多くの化石が見つかっており、その当時は冷涼・乾燥気候の下で、日本の広い範囲で繁栄していたと考えられています。

広告

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。詳しくは、<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html>の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体	単位等	広告料
広報ふじみ	下1段(縦50ミリメートル、横175ミリメートル)	1回 5,000円
町のホームページ(町民のページ)	トップページ(縦60ピクセル、横150ピクセル)	月額 5,000円

- ◆町の人口と世帯数 平成24年4月1日現在(前月比)
住民基本台帳人口 男性/7,489人(-28) 女性/7,721人(-16) 合計/15,210人(-44) 世帯/5,669世帯(-18)
- ◆発行日 平成24年5月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10,777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.lg.jp> Eメール fujimi@town.fujimi.lg.jp ◆印刷 (有)富士見印刷